

その他のご意見

■12日の午前(西部地域センター)

	・人口が増えると緑は減っていくと当然のように思われるが、今後どのようにして緑を守り増やしていけというのか ・懇談会がまた開催されるのなら、参加者に何をやりたいかを発言する時間をとって欲しい ・懇談会で出た意見はパブコメ扱いとして欲しい ・滝山団地は、多摩地域のモデルとして、コミュニティを推進している。そのなかで、ITや地デジの話が出てきた ・現行都市マス策定以降の振り返りが重要で、そこからスタートすべき
--	---

■12日の午後(東部地域センター)

	・高齢者を中心に3輪自転車の利用が増えている。車幅があるため、走行空間や曲がり角などでの道路側の配慮をお願いしたい
--	---

■18日の午前(南部地域センター)

	・現行都市マスは平成20年に部分改訂されたが、南沢5丁目のそれ以前の土地利用は流通業務地となっている。なぜ部分改訂で土地利用が赤色に変わったのか、その資料がここにはない ・流通業務地は法律があるが、南沢5丁目はこの法に基づき検討されたのか。また、この法による流通業務市街地の用途規制じゃ極めて厳しいのに、南沢5丁目はなぜ簡単に変わったのか。流通業務地の定義を明らかにすべきだ。 ・5項目について検討するということであるが、これから、良いまちづくりをして行こうという、ワクワクする気持ちがおきない。それは市民がつくるマスタープランの理念、その共有の理念が確認できないからだ ・現行都市マスタープランは「水と緑」をテーマとしているが、この部分も含めて見直すのか ・広域雨水幹線が小金井街道の下に埋め込まれ、黒目川や落合川につながっている。この整備が済むと周辺市の雨水がどっと流れ込むことになるが、大丈夫か？この雨水幹線の整備情報をきちんと開示してもらいたい。また、市は東京都に対して計画の中止を求めるべきである。 ・全市レベルで議論するのか、地域レベルで議論するのか ・今日出た意見は具体的に反映するように ・提供して頂きたい情報がある。公開して欲しい。 ・地域別構想の資料は、白黒コピーであるため、土地利用等の判別ができない。 ・資料を見ると、シナリオがまとまっており、解決のための方法を聞かれているようだ。素人だと分からない所がたくさんある。地区計画など
--	--

■18日の午後(東久留米市役所本庁舎)

- ・これまでの都市づくりの整理はできているのか
- ・イオンにおける交通が大きな課題だ
- ・都市計画マスタープランは土地利用に関することが大きいので、土地に権利を有する人の意見を考慮して検討する必要がある
- ・本日の資料等は、数ヶ月や半年くらい前から市民に提示して欲しい
- ・市はまちづくりビジョンを出してから、このような会合を開いて欲しい
- ・観光が重要である。このため行政は観光課を、民間を中心に観光協会を設置するのがよい

■24日の夜間(東久留米市役所本庁舎)

- ・東久留米市には多くの中小の工場がある。その技術レベルを維持・向上するための施設が必要
- ・欲しい資料として第4次長期総合計画の内容 → 後ほど広報誌特集号が配布された
- ・欲しい資料として、これまでのまちづくり評価
- ・懇談会で話し合いたい5つのテーマ以外の3つはどうなるのか
- ・農業や興業の振興策を都市マスに入れるべき

■29日の夜間(西部地域センター)

- ・8の項目から5の項目になった理由は何か
- ・産業の振興が重要だ。滝山団地商店街の活性化はどこで議論する？ → ⑤で議論する
- ・滝山団地のうち分譲住宅は、そこは私有地であり私有財産である。このことを理解した上で団地再生を議論して欲しい。分譲住宅の住民の多くは、今のままで良いという意見が多い。慎重に進めて欲しい。
- ・東久留米市のまちづくりを進める上で重要なことは2つある。1つはインフラ整備である。もう1つは「いつまでも住み続けたい気持ちになるまちづくり」を理念として掲げることである。
- ・まちづくりはコラボレーションで進めることが効果的である。例えば、観光と高齢者にやさしいまちづくり
- ・市立第十小学校敷地に都市計画道路がかかっているが、その整備には反対である。道路でまち分断されることと、子供たちの交通に不安が高まるためである。戻ってきたいまちにして欲しい

■長期計画策定時・タウンミーティング等の意見

- ・道路拡充で街道筋にも近くなり、広い土地を利用した物流拠点が可能。一般消費者には関係ないが、宅配・引越業者などが経営するリサイクルセンターを共同でだせないか
- ・普通の公園では遊び方が限定され、昔ほど自由な空き地もないので、自然樹木利用のプレイパーク
- ・ミニゴミ焼却場と、焼却熱利用の温水プールの整備(既存施設の縮小版)
- ・野鳥の楽園(人間が入れない、野鳥の観察場所)
- ・人口の増加する活力のある市に
- ・今優先的に必要なのは、子どもと高齢者の安心・安全
- ・準工業地域で事業所をやめた時、高層マンションなどが建ちやすいが、そこにはマンションでなく、事業所を誘致してほしい